

都市と山村の共生・対流の促進

森林と人との共生、都市と山村の対流を促進し、山村の活性化を図るため、地域資源を活かした新産業の創出等による魅力ある山村づくり、森林環境教育や「健康と癒し」等への森林の多様な利用等を総合的に推進。

3, 126 (1, 529) 百万円

1 ポイント

森林資源等を活かした新たな産業の創出やIターン者等の定住促進のための受入体制の整備等により魅力ある山村づくりを支援するとともに、森林環境教育や森林を活用した健康づくり等を通じた森林の多様な利用の推進、美しい自然と景観の維持・創造等により都市と山村の共生・対流を促進。

(1) 地域資源の活用による魅力ある山村づくり 2, 444 (1, 267) 百万円

○ 山村資源を活用した新産業の支援 60 (0) 百万円

森林資源等を活かした新たなビジネスプラン(もり業アイデア)を市町村、ベンチャー企業、研究機関等から広く募集し、その優秀事例についてモデル的に事業を実施することにより、新たな産業の発掘を行い、山村地域の就業機会の創出・確保を推進。

○ 山村コミュニティの活性化 100 (0) 百万円

集落間の連携強化による地域づくりのための地域の特色を活かしたマスタープランの策定、山村への若者・Iターン者等の定住促進のための受入体制の整備、山村ボランティア活動への支援等を推進。

○ 地域材利用の推進 1, 330 (791) 百万円

森林所有者から住宅生産者までの関係者の一体的な取組による、消費者ニーズに応える地産地消の家づくりや展示効果・シンボル性の高い公共施設等への地域材利用の推進。

○ きのこと類等特用林産物供給体制の確立 406 (151) 百万円

消費者の参画による産地づくりや新たな栽培方法の確立等地域の特性に応じた供給体制の整備を推進するとともに、栽培環境に由来するきのこの成分変化に関する調査を実施。

○ ITを活用した森林情報の提供 548 (476) 百万円

森林資源データを効率的に管理・処理できる都道府県の森林GIS(地理情報システム)の集中的な整備及び森林所有者や地域・都市住民等に対し、森林GIS上で整備された森林情報をインターネット等で提供するシステムの構築。

(2) 森林の多様な利用の推進 266 (141) 百万円

○ 森林環境教育活動の条件整備促進対策 200 (125) 百万円

文部科学省と連携して、学校教育等における体験活動の場となる森林や指

導者の募集・登録、森の子くらぶ活動の受入体制の整備、学校林の整備・活用、滞在型の森林・林業体験交流活動の機会の提供等を実施。

○ 里山林の新たな保全・利用の推進 16(16)百万円

多様な利用活動の場となる「里山利用林」の設定と「森林の育て親」の募集に対する支援を行うとともに、森林と人との共生林の整備に向け、整備構想の策定、市民参加に関する協定の締結等の条件整備等を実施。

○ 健康と癒しの森づくりの推進 50(0)百万円

森林を活用した健康と癒しの森づくりを推進するため、整備構想の策定、協力体制づくり、活動トレーナーの育成等を実施。

(3) 美しい自然と景観の維持・創造 422(121)百万円

トキの野生復帰の促進や日本を代表する景勝地の景観を守るため、松林の保全・整備を図り、美しい自然環境を再生するとともに、山村等防災GISの整備やインターネットを活用した防災情報提供、おいしい水に森林の果たす役割の調査・普及等を推進。

2 事業実施主体

都道府県、市町村、森林組合、民間団体等

3 補助率

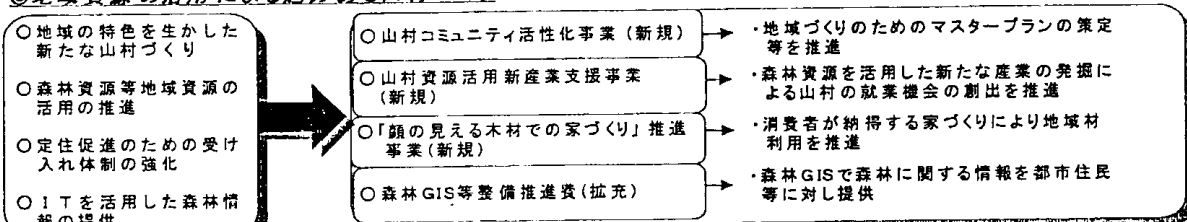
1/2等

都市と山村の共生・対流の促進

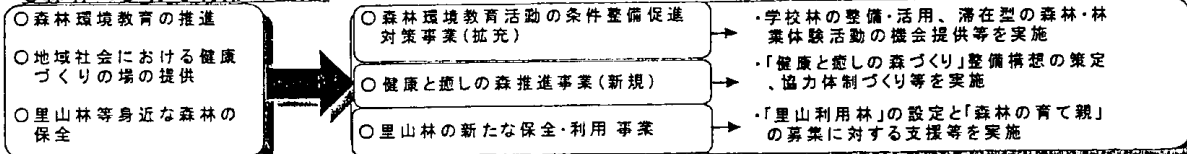
【新たに推進すべき方向】

【平成15年度予算における新たな取組等】

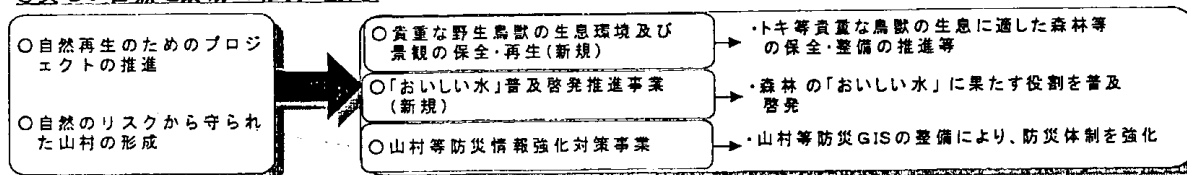
◎地域資源の活用による魅力ある山村づくり



◎森林の多様な利用の推進



◎美しい自然と景観の維持・創造



[担当窓口課：林野庁計画課(03-3502-0048(直))]